

ひまけい ＝ 議会だより

No.10

2012.7.13

発行編集：日之影町議会報編集委員会



雨に咲く花



担い手

平成24年度一般会計・特別会計補正予算	・・・・・・・・・・	p 2
平成23年度一般会計・特別会計専決処分		
条例制定・改正・行政報告	・・・・・・・・・・	p 3
一般質問	・・・・・・・・	p 4～p 6
各常任委員会・特別委員会所管調査報告	・・・・・・・・	p 7

■平成24年度一般会計補正予算(第1号)■

歳入歳出(補正額) 76,507千円
歳入歳出補正後の額 4,418,507千円

6月
定例議会

歳入の主なもの

国庫支出金(社会資本整備総合交付金補助金) 35,250千円
県支出金(障害者自立支援対策臨時特例交付金) 557千円
繰入金(財政調整基金繰入金) 37,000千円
諸収入(コミュニティ助成事業等) 3,700千円

歳出の主なもの

議会費(人件費) △64千円
総務費(宮崎銀行社宅取得費等) 24,962千円
民生費(人件費等) △5,321千円
衛生費(小規模水道施設整備補助金等) 1,062千円
農林水産業費(人件費等) △4,605千円
商工費(商品券発行事業補助金等) 5,187千円
土木費(社会資本整備総合交付金事業費等) 51,237千円
教育費(学校施設の自動火災報知設置設備修繕等) 3,918千円
予備費 131千円

■平成24年度一般会計補正予算(第1号)における投資的事業

(普通建設事業)

(単位:千円)

新規	事業名	事業の内容	補正額
○	住宅取得事業	宮崎銀行社宅取得	20,736
○	水道施設等改修事業(小規模水道施設整備事業)	水道取水施設改修(草仏)	938
○	水道施設等改修工事(生活環境改善対策事業)	取水・配水施設改修(今別府)	455
	社会資本整備総合交付金事業	町道影待岩戸線道路改良工事	50,000

■住宅の取得について

本町過疎対策の一環として、住環境の整備を図るため、次の物件を購入する。

宮水大規模林道横の「(株)宮崎銀行日之影出張所の共同社員宿舎」
鉄筋コンクリート造 2階建 4戸
土地購入価格 5,283,909円(面積1,303㎡)
住宅購入価格 15,451,895円

■平成24年度日之影町国民健康保険病院事業会計補正予算(第1号)

職員の人事異動と傷病及び育児休暇に伴う人件費・共済負担金率改正に伴う補正

給与費を9,257千円減額し、予備費を9,257千円追加、総額は補正前と同額の712,299千円

平成24年6月定例議会は、6月5日に開会し、一般会計・特別会計の補正予算2件・行政報告2件・専決処分事項の承認9件・条例改正1件・住宅の取得他1件の計14件の議案を審議し、原案のとおり可決、承認した。
一般質問は5名が登壇し、町長・教育長に質問し、6月12日に閉会した。

■ 専 決 処 分 ■ 平成23年度補正

会 計 名	総 額	補 正 額	主 な も の
一 般 会 計	4,957,981千円	259,358 千円	財政調整基金等
病院事業会計	700,086千円	△ 20,479 千円	職員給与費等
国保特別会計	840,724千円	9,012 千円	保険給付費等
簡易水道特別会計	67,646千円	△ 6,150 千円	衛生費等
奨学資金特別会計	7,849千円	△ 143 千円	奨学資金等
介護保険特別会計	627,512千円	△ 1,444 千円	保険料等
後期高齢者特別会計	50,537千円	△ 645 千円	広域連合納付金等

条例改正

■ 税条例の一部を改正する条例 (専決)

固定資産税(土地)の負担調整措置を現行から3年延長し、住宅用地に対する固定資産税の負担上限を、現行8割の据え置き特例を、平成24年度から上限の9割に引き上げ、平成26年度に廃止する。

■ 国民年金保険税条例の一部を改正する条例 (専決)

東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地に係る譲渡期限を、平成26年度までの現行3年間を、平成30年までの7年間に延長し、被災地からの転居者に対応。



購入される宮銀住宅

辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更

■ 税条例の一部を改正する条例
個人町民税の寄付金税額控除の対象となる寄付金の指定であり、県に準じて対象指定法人を指定する。

星山辺地に「防災水槽新設事業」と「吾味駅交流広場トイレ新設事業」を追加する。

行政報告

1、消防の常備化について

消防の常備化については、平成20年12月1日に「西臼杵郡消防常備化検討会及び作業部会」を立ち上げ、調査・研究を進め、平成21年4月24日に「西臼杵郡消防常備化検討会」を開催し、消防常備化についての基本方針を採択し、平成24年5月24日高千穂町役場に於いて、3町議会議長立会のもと、消防常備化に向けての覚書の調印を行った。(平成27年4月運用開始予定)

2、平成23年度日之影町小・中学校の学校評価並びに教育委員会事務事業の自己点検・評価について

この報告は、毎年度学校教育の充実及び教育委員会の事務局の効率化を図る為に行われるものである。内容については次のとおり。

① 学校評価に対する学識経験者の講評

- 各学校とも児童生徒の基本的な学力は身に付いている。
- 各学校とも学力は全般的に県平均を上回っているが、個人差が大きい。
- 日常の体育指導や部活動などを通して、児童・生徒の体力が向上している。
- 日之影町教委の教育目標を受けた各学校の教育目標の具現化に向けた指導の充実と、その成果を期待したい。

② 教育委員会に対する学識経験者の講評

- 教育委員会の活動
 - 教育委員会が管理・執行する事務
 - 教育委員会が管理・執行する教育長に委任する事務
- ほぼ適正に管理及び執行されていることを認める。

一般質問

「町づくり懇談会は」

飯 干 静 香



憩いの場「まさのや」

しますと、今こそ住民との対話が大事な時にきているのではないかと。

町長が就任され、6年が経過しようとしているが、ここ数年実施されてない地区懇談会を開催していく考えはないか。

町長 過去に「行政座談会」を実施したが、期待した座談会にならなかった経緯がある。行政施策を策定するにあたり、今後は、農林商工業・医療・福祉・教育等で組織された各種団体等の皆様方からの意見や要望をいただき、町行政に反映させ、分野別の懇談会を実施していく考えである。

問

宮崎部品工場の閉鎖・建設業者の人員整理・企業の倒産・人口減などの問題は山積している。従業員やその家族、関係者の皆様には悲痛の出来事となり、日之影はこの先どうなっていくのかと、とても心配される声が多く、町民生活は困窮を極めている現状にある。

私達の考えに及ばない話まで浮上しているのを耳に

「ケーブルネットワーク運用について」

佐 藤 功

問 運用開始後一年を迎えた。課題と対策を併せて伺う。

町長 初めての取り組みで、大小課題が出て来たが安定した放送サービスの提供と維持管理費抑制が重要と認識する。その費用については道路延長と同様に、特別交付税の算定に加えて頂くよう関係機関に強く要望している。光ケーブル移設は専門業者による工事で運用費増大の一因となっているが、軽微なものは町内業者や作業員で対応し費用抑制に努めている。今後は山林伐採などによるケーブル移設要請の増が予想されるので、応益負担の原則を踏まえルール作りに取り組んで行く。

撤去計画、また撤去費用の補助要綱詳細を伺う。

町長 N H K 共聴は十二組合493世帯有るが既に撤去は完了している。一般共聴は十四組合73世帯有り、6月中旬に地元説明会実施後9月までに撤去予定で準備を進めている。

N H K 共聴は幹線部分をN H K が、各家庭への引き込みは町で撤去した。

一般共聴に対しては補助金の助成が難しいことや、N H K 共聴との公平性を図る観点から町の一般財源で撤去を行い、組合員の負担は伴わない様に進めて行く。

「林間路網整備対策について」

問 再生プランを実施するには路網整備が欠かせない。県単及び町単の路

網整備事業見直しと補助率見直しの計画はないか伺う。

町長 森林作業道の整備は、効率的な林業経営の改善を図る上で重要と考え、基幹道からの支線の作業路開設を推進してきたところだが、県の標準単価等を考慮して補助率については今後更に検討を進める。



林間作業路

「消防常備化について」

杉 本 道 生



防職員の育成が急務である。平成24～25年で消防職員の採用を行い県消防学校に入校させその育成に努めたい。

問 財政負担の予想とシュミレーションは。

町長 合意に至るまで最も協議に時間を要した事項は。

町長 遠隔地への到着時間を考慮し一本部一署二出張所が理想であったが、今後の財政負担を想定し出張所の必要性の協議であった。

問 今後のスケジュールと本町の取り組みは。

町長 具体的には、平成27年4月の運用開始に向け準備会で協議する。本町でも消

相互援助活動等を想定した時、ヘリの給油基地が必要ではないか。

町長 県との三町常備化の中で提案してみる。

「農林業振興対策について」

問 全国的に問題が深刻化しつつあるが、本町の農地森林の不在村所有の実態と対策は。

町長 農家世帯で不在村地主は、196世帯内耕作放棄地は、14世帯2ヘクタールが確認された。森林では、711ヘクタール、42名である。24年4月改正の森林法に沿って県森林組合等と連携し、施業の集約化整備の促進に努める。

問 「青年就農給付金」の取り組み状況は。

町長 経営開始型の給付希望対象者を県のプランに申

請中である。大変希望者が多い中全員が採択になるように頑張る。

問 農作業安全対策の取り組みは。

町長 町内では平成20～22年度で47件の重軽傷事故が発生している。

今年度は、女性新規就農者、高齢者等を対象に研修等を計画している。

「学校教育安全対策について」

問 防災教育と国道218号線通学危険箇所への安全対策は。

町長 「危機管理マニュアル」を見直し、各種避難訓練を年間実施している。

学校行政見守り隊等と連携し、危険箇所の確認対応を支庁に要望していく。

「明るい農村建設」 「逆転の発想が大事」

甲 斐 喜 夫



「小さな川」・「農業用水」を利用した小水力発電所の取り組みを早急に構築すべきでは・・・。

問 このことは、昨年の6月議会でも、太陽光・風力・水力・バイオマス等々積極的な取り組みについて質問をした経緯の中で、町長は国の成り行きを静観しながらという基本的な考え方だったが、この一年間に取り組んできた経緯と検証の結果は・・・。

町長 県当局にも、それぞれと色々な角度から相談していたところ、昨年から状況が一変し、今日之影の水力発電所の視察等も相次ぎ、見立地区にも調査団がはいる等々周辺一帯が様変わりしようとしている状況も事実である。

問 国は、福島第一原発の影響から自然エネルギー対策導入に向け、経済産業省は、7月からスタートする再生可能エネルギーの固定価格買取制度も決まった。

このことから早急に取り

組むべきと考えるが町長の姿勢は・・・。

町長 農業用水が可能かどうか積極的に検討していきたい。できれば、9月の議会でも補正予算で調査研究費等を検討しているところである。

問 再生エネルギー3万KW以下の買取義務の発生等から、鹿児島県では、40箇所決定し、6年間で240億円等2万4千KW一般家庭5万戸分、国内最大規模を旗揚げしております。併せて、企業も「産・官・学」一帯となり、関係者で発電システム機械20KW級「北陸精機」300万円相当、「東芝・明電」1,500万円相当であちこちから問い合わせが相次いでいる状況である。このようなことから早急に「元気のあ

る村づくり」として小水力発電こそ土地条件から考えても必要不可欠である。ぜひ算化を早急にすべきと考える。

以上提案し、答弁の必要なし・・・。

「高齢者福祉について」

坂本 和雄

問 高齢化社会への移行に対応した町づくりは。

町長 本町の65歳以上の高齢化率は41%を超えており、高齢化社会への対策は大きな政策課題である。このため、平成23年度に第5期介護保険事業計画を策定し、高齢化への対策をより一層推進することとした。

具体的には、これまでに推進してきた諸々の事業をさらに充実するため、①医療機関との連携。②介護サービスの充実強化。③介護予防の推進。④見守り、配食、買い物等の生活支援・財産管理。など権利擁護活動等である。

問 独居老人、老老介護世帯への取り組みは。

町長 ひとり暮らしの高齢者には、民生委員をはじめ、地域での見守り、日常生活に不安がある高齢者には生活支援ハウスの利用、緊急通報

装置の設置を勧めている。

また、家事等日常生活の支援には、ホームヘルパーを派遣している。

老老介護世帯については、それぞれのケースに対応し、保健・福祉・介護・医療・ホームヘルプ事業等を組み合わせ、安心して生活できるような施策の推進に努める。

「消防行政について」

問 雨季に備えて防災対策は。

町長 近年異常気象による自然災害が各地で発生している。これから本格的な梅雨・台風のシーズンを迎えることから、本町においても、例年実施している防災訓練を、6月3日に松の木地区で、土砂災害や河川の氾濫を想定した訓練を実施した。



避難訓練（松の木地区）

握できるので、消防団との連携を密にして、早期の避難等、対策を講ずる。集中豪雨は、県の防災気象システムを有効に活用し、情報の収集につとめ、町民への情報伝達に努める。例年行っている災害危険箇所調査は、6月19日に計画している。

問 防火水槽の設置箇所は防衛エリア、地形等を考慮して選定すべきではないか。

町長 住民の生命財産を守るため、地形的に点在する人家等の有事に備え、消防団と協議を行い今後も制度事業等を活用し、消防施設の充実に努めたい。

報告

平成23年度繰越明 許費繰越計算書の 報告

この報告は、地方自治法の規程により、平成23年度からの繰越事業となるものです。

1. 一般会計

既存共聴施設撤去事業他7件で、金額は、1億1903万5千円

2. 介護保険特別会計

介護保険システムプログラム修正委託料
441万0千円



ケアサポート「ひだまり」

所管事務調査報告

■ 総務文教常任委員会

期 日 平成24年5月18日

調査事項 平成24年度設置予定の耐震性貯水槽2基・消火栓1基

B型支援事業高千穂町「高千穂焼作業所」



■ 経済建設常任委員会

期 日 平成24年4月22日

調査事項 森林セラピー施設関係

矢筈岳トロッコ道・阿下集落の水車・TR鉄道跡地散策コース



■ 土地一体型水防災事業特別委員会

期 日 平成24年4月18日

調査事項 高上げ工事中の神影地区・役場周辺の工事進捗状況調査



■ 資源等調査特別委員会

期 日 平成24年5月14日

調査事項 観光資源としての位置づけ・保存。
湧水の利用・活用。



■ 高千穂鉄道財産審議特別委員会

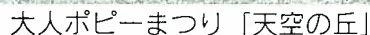
期 日 平成24年5月14日

調査事項 高千穂鉄道敷地跡の有効活用策と、交流人口の増大。



町道 二又上長川線
(鳥屋の平集落下) 道
路改良について

◆「恋和神チャリテイコンサ
ート」



(平成24年4月～平成24年7月)

S
.
|